

【入試関係】

Q.入試形態は専願でよろしいですか？

A.関係校・指定校などの推薦入試は専願となりご辞退いただけませんが、国際コース選抜入試（公募入試）の場合は合格後のご辞退は可能です。

Q.第二次選考の英語を使った講義を聴講後、面接試験を実施するとありますがどのくらいのリスニング力が必要ですか？

A.アウトラインがレジюмеで示されますので、非常に高度なリスニング力までは要求されませんが、ある程度の内容は聞き取れる必要はございます。

Q.2次試験の面接の会場は、立教大学のキャンパスの方で行われるのでしょうか。

A.はい、池袋キャンパスで行っています。

Q.IELTSスコアレポートはコピーの提出と電子送信の両方が必要ということでしょうか？電子送信の部分がよくわからないのでご説明いただけますでしょうか。

A.電子送信はIELTS試験実施団体から本学にスコアを直送するための手続です。申請方法はご受検された試験実施団体へご確認いただければ幸いです。通常は受検時の「マイページ」などから申請する方法になります。

また、スコアの電子送信に加えて、

①Test Report Form

②電子送信の依頼が完了していることがわかるもの（通知メールやマイページのプリントアウト等）

については紙媒体（コピー可）での提出をお願いしております。

上記の詳細については、6月中旬に公開予定の入試要項にて必ずご確認ください。

Q.出願資格の英語検定についての質問です。ホームページに、基準は2,180点と書かれていたのですが、今年は2,400点に変更されるのでしょうか。

A.現在本学ホームページ上にある入試情報は2023年度入学者用のもので、既に終了しております。2024年度入学者のものは6月中旬に公開予定ですが、英語要件の変更他、主な変更点については昨年より以下のサイトに掲示しております。

<https://www.rikkyo.ac.jp/admissions/undergraduate/notices.html>

昨年はコロナ禍もあり、日本人学生のみでスタートしたグローバルコースでしたが、各種制限も解除され、日本語を母語としない外国人学生の受入を本格的に開始しました。

入学当初からこれらの正規留学生と同じクラスで分け隔てなく授業を受けるために、留学生と同じ英語要件に揃えることが必要であるという観点から、日本人学生に対する英語要件を上げることにしました。

なお、説明会では、入学当初からいきなり英語授業を受けることに不安のある方には、学部1年次には従来の国際ビジネス法学科(日本語トラックコース)に所属していただき、そこから1年間、英語力を磨き、また法学の基礎を日本語で勉強してから、2年次に上がるときにグローバルコースへの転コースを検討するという途もあることを、合わせてご紹介しました。

【カリキュラム関係】

Q. 大学4年間で推奨する資格等などありますか？

A. 留学を推奨していますので英語試験の継続受検を推奨していますが、日本国内の資格については特に推奨していません。法学部全体では金融関係に就職する学生が多く、金融関係で利用できる資格や行政書士や宅建等を在学中に勉強して挑戦する学生の話聞きます。

Q. 将来的に、通関士や貿易事務検定の資格を取りたいと考えているのですが、授業ではそれらの資格に必要な知識も学べますか？

A. 貿易事務検定については、英語授業ではInternational Business Law、また日本語授業の国際ビジネス法総合、商法などで勉強する内容である程度カバーできます。マーケティングなどは他学部の授業を受講した方が良いでしょう。
通関士の資格の試験対応は難しいように思います。

Q. 質問ですが、本コース修了後に米国ロースクールLLMへの入学は可能でしょうか？

A. グローバルコースを修了すると法学士が得られますので、LLM入学資格はあります。

Q. プレゼンテーションはどのくらいの頻度であるのですか？プレゼンテーションの内容などもお聞きしたいです。

A. Legal Presentationの授業は週1コマです。もっとも毎回プレゼンをしているわけではなく、準備やコメンテーターなども行っていますので、学期中に2、3回発表するイメージです。さらに、他の授業(ContractやIntroductionなど)でもプレゼンがあるでしょうから、かなりの頻度でプレゼンの機会はあるでしょう。内容は各授業によって異なります。関連する法律問題や時事的な問題をテーマに、裁判例や他国の例などを調査して発表することが多いようです。

Q. 他学部やグローバルコース以外の法学部の人に比べて勉強は大変ですか？

みなさんの会話を聞いてとても楽しそうですが、グローバルコースに入って、やっていけるか心配です...

A. (学生からの回答)大丈夫です！法律も予備知識はなくても大丈夫ですし、少人数クラスなのでお互いに助け合う環境になっていて、一緒に勉強しています。

(教員からの回答)グローバルコース以外の法学部授業は、比較的大人数の講義形式と少人数の演習という組み合わせです。法学は一般に非常に情報量が多くまた難解ですので、これらを整理して理解をする上で、講義形式と少人数形式のどちらにも一長一短があり、質の異なる大変さがどちらにもあると思います。

【進路関係】

Q. 卒業後はどのような進路を希望されている方が多いですか？

／グローバルコースを卒業した方はどのような業種に就職されていますか？

A. グローバルコースは2022年開講で、今はまだ2年次生までしかいませんが、現1, 2年次生に対するアンケートによれば、企業法務、特に多国籍企業／海外展開している日系企業の法務に関心があるという回答が最も多く見られます。その他、いわゆる営業職、ジャーナリズム、国際公務員、外交官などを含めた広い意味での就職希望のほか、国内・海外大学院進学希望者もいます。

【Gコース生への質問】

Q. 一次試験の英語での志望理由書や小論文、また、二次試験での対策は具体的にどのように取り組まれていましたか？学校での英語の先生などに添削などをお願いされていましたか？

A. 小論文やディスカッションは時事問題だったので、日頃からニュースをよく見て、調べるようにしていました。エッセイの添削については、文法や書き方については先生にアドバイスをもらいましたが、内容自体は自分で決めました。

Q. 部活動、サークルと学業を両立することはできますか？

A. サークルは別に強制ではないので、両立は可能です。

【その他グローバルコースの説明会・体験授業について】

Q. HPには7/31 14:00~ グローバルコースの模擬授業があると記載されていたと思いますが、8/3になったのでしょうか。

A. その情報は2022年の情報です。見づらくて申し訳ありません。去年はオープンキャンパスが対面では行われなかったために、グローバルコースのみの模擬授業のイベントを行っていましたが、今年是对面でのオープンキャンパスが行われる予定ですので、グローバルコース模擬授業もオープンキャンパスの中で行います。

<https://www.rikkyo.ac.jp/admissions/visit/opencampus/>

法学部の日程は8月3日です。オープンキャンパスの詳細は7月に更新される予定ですが、グローバルコースの体験授業の内容など詳細が決まりましたら随時Twitter上でご案内します。是非ふるってご参加ください。